

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成26年2月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査①】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市 港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 5

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 26 年 2 月（大気質、水質）の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

表-1 事後調査の概要（平成 26 年 2 月）

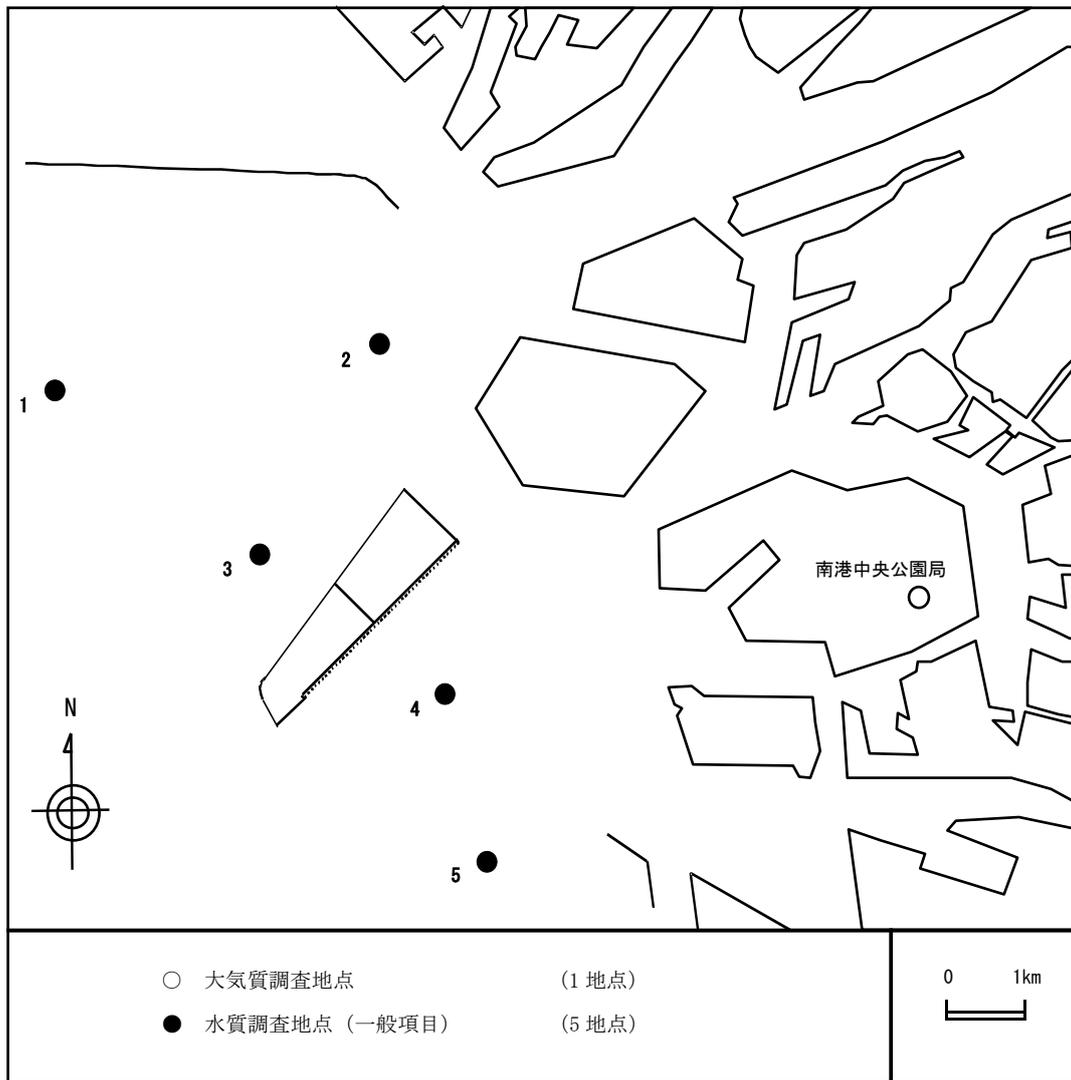
埋立地周辺における調査

(1)大気質 表-1(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二氧化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	2月1~28日	通年連続

(2)水質（一般項目）表-1(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	2月5日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			



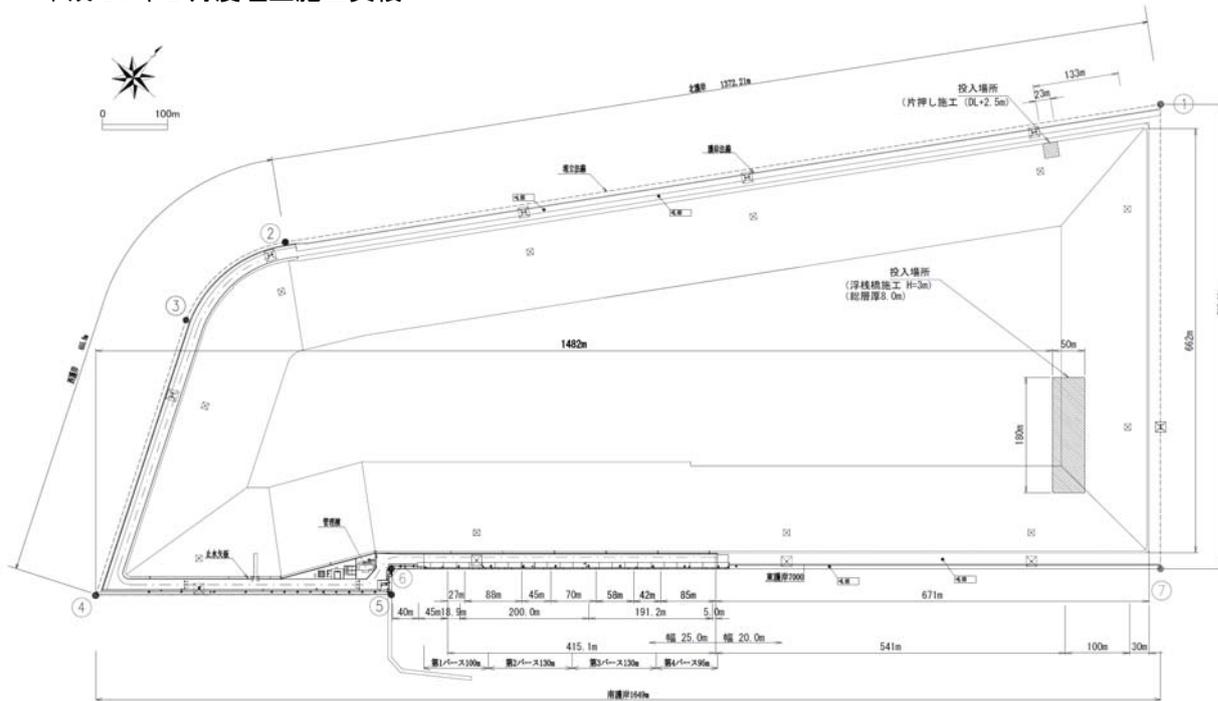
図一 1 大気質、水質（一般項目）の調査地点（平成 26 年 2 月）

2. 工事の実施状況

平成 26 年 2 月の工事の実施状況は、図－2 (1)、(2)、表－2 に示すとおりである。

大阪沖処分場平面図

平成 26 年 2 月度埋立施工実績



埋立量 (m ³)	進捗率 (%)
2,606,298	18.6

埋立容量 (計画量) : 13,975,000 m³

図－2 (1) 工事の実施状況 (平成 26 年 2 月)

表-2 工事の実施状況（平成26年2月）

工種	2月																													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		
国土交通省 近畿地方整備局																														

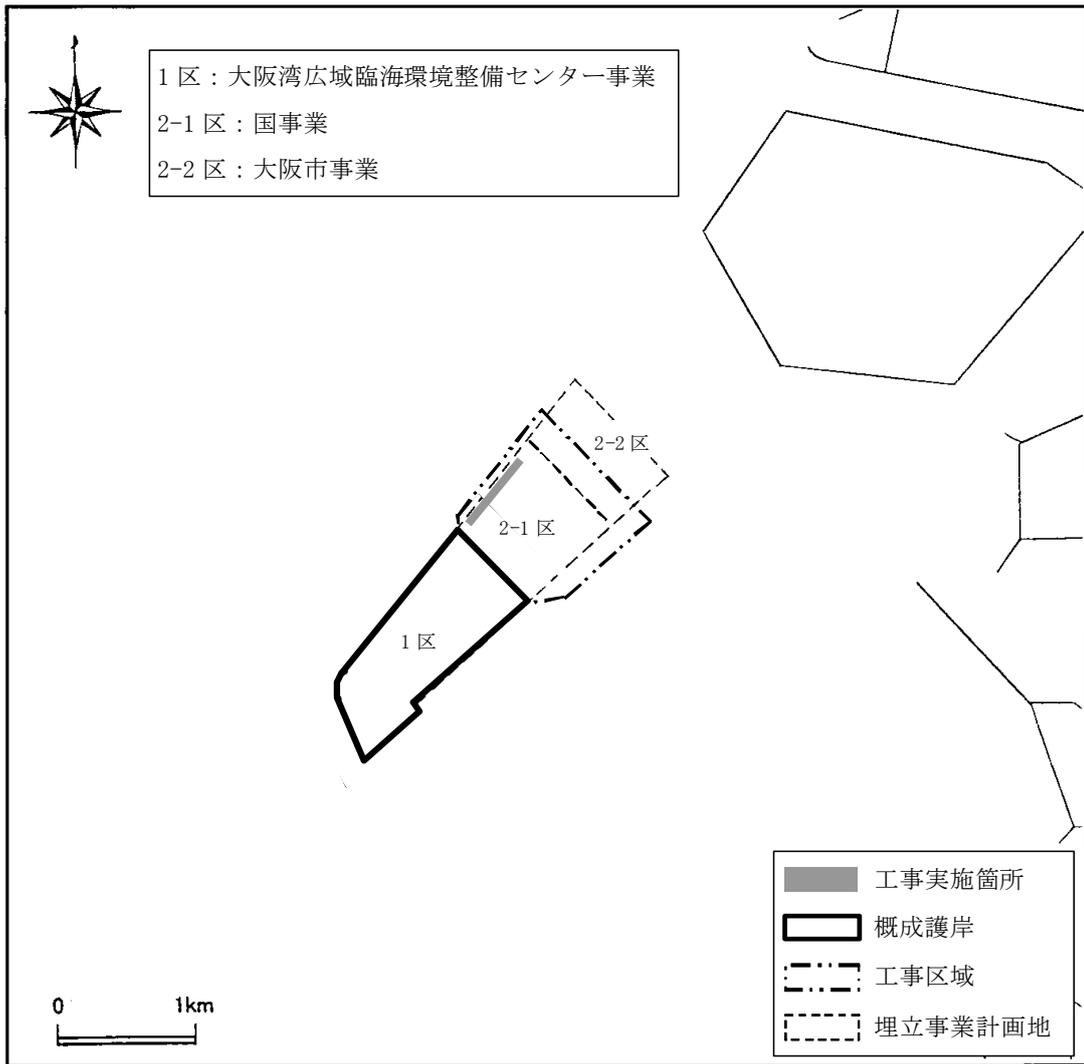


図-2(2) 工事の実施状況（平成26年2月）

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm以下、1時間値：0.1ppm以下】

二酸化硫黄 (SO₂) の月平均値は、0.005ppmであった。また、日平均値の最高値は0.012ppm、1時間値の最高値は0.034ppmであり、環境基準を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値0.04～0.06ppmのゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素 (NO₂) の月平均値は、0.028ppmであった。また、日平均値の最高値は0.056ppmであり、環境基準の範囲内であった。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値0.10mg/m³以下、1時間値：0.20mg/m³以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.023mg/m³であった。また、日平均値の最高値は0.080mg/m³、1時間値の最高値は0.118mg/m³であり、環境基準を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質（一般項目）[水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8以上8.3以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層、下層のいずれも8.3～8.4の範囲にあり、上層、下層のいずれも調査地点3を除く全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点3(8.4)、下層における調査地点3(8.4)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)では上層で7.7～8.6、下層で7.8～8.3の範囲にあり、調査地点3の下層でこの範囲を若干上回っていたが、概ね同程度であり、本事業による影響によるものではないと考えられる。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で2.3～3.1mg/L、下層で1.9～2.6mg/Lの範囲にあり、調査地点1の上層を除く全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準を超過した調査結果は、上層における調査地点1(3.1mg/L)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)は上層で1.6～4.9mg/Lであり、この範囲内にあり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L以上】

溶存酸素量 (DO) は上層9.5～11mg/L、下層で9.0～10mg/Lの範囲にあり、上層、下層のいずれも全ての調査地点において環境基準値の範囲内にあった。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.27~0.68mg/L、下層で 0.23~0.36mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 4 において環境基準値を上回っていたが、他の調査地点では環境基準値を満たしていた。下層では全ての調査地点で環境基準を満たしていた。

環境基準を上回った調査結果は、上層における調査地点 4 (0.68mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) では上層で 0.46~2.1mg/L でこの範囲にあり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全磷 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg/L 以下】

全磷 (T-P) は上層で 0.028~0.065mg/L、下層で 0.028~0.051mg/L の範囲にあり、上層、下層のいずれも調査地点 4 を除く全ての調査地点で環境基準を満たしていた。

環境基準を上回った調査結果は、上層における調査地点 4 (0.065mg/L)、下層における調査地点 5 (0.051mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) では上層で 0.021~0.15mg/L、下層で 0.020~0.25 mg/L でいずれもこの範囲にあり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 1~2 度 (カリン)、下層で 1~3 度 (カリン) の範囲であった。

7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で 2~3mg/L、下層で 2~6mg/L の範囲であった。

8) クロフィル a

クロフィル a は上層で 5.5~9.9 μ g/L、下層で 1.8~9.7 μ g/L の範囲であった。

《 参考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1 時間値が 0.20mg/m ³ 以下であること。

(2) 水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L 以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L 以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L 以下

- 注） 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。
2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。
 公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）
- (1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が 75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
 なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。
 75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ 0.75×n 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって 75%水質値（0.75×n 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。
- (2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
 環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち 75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。
- (3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
 これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成 12 年度・水質（一般項目））

項 目	区 分	事業実施前調査 (平成 12 年度・調査地点 1~5)	
		最小値 ~ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ~ 8.6 (13/60)	-
	下層	7.8 ~ 8.3 (0/60)	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ~ 4.9 (34/60)	3.2 ~ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ~ 3.6 (4/60)	2.0 ~ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ~ 14 (0/60)	8.6 ~ 9.8
	下層	0.6 ~ 11 (14/60)	6.2 ~ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ~ 2.1	0.91 ~ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ~ 0.82	0.44 ~ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ~ 0.15	0.061 ~ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ~ 0.25	0.038 ~ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大~最小」の値は、調査地点 1~5 における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m: 環境基準を満たしていないデータ数、n: 総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小~最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における 75% 値の最小~最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表[平成26年2月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	28
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	668
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	28
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	7
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	667
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	28
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	667
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果[平成26年 2月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日	1 (土)	0.041	0.115
	2 (日)	0.024	0.117
	3 (月)	0.094	0.239
	4 (火)	0.006	0.023
	5 (水)	0.007	0.022
	6 (木)	0.009	0.032
	7 (金)	0.005	0.017
	8 (土)	0.008	0.046
	9 (日)	0.000	0.001
	10 (月)	0.007	0.023
別	11 (火)	0.001	0.004
	12 (水)	0.013	0.097
	13 (木)	0.006	0.035
	14 (金)	0.023	0.059
	15 (土)	0.002	0.010
	16 (日)	0.000	0.001
	17 (月)	0.034	0.204
	18 (火)	0.003	0.010
	19 (水)	0.003	0.010
	20 (木)	0.010	0.057
値	21 (金)	0.021	0.122
	22 (土)	0.002	0.009
	23 (日)	0.003	0.020
	24 (月)	0.025	0.130
	25 (火)	0.035	0.215
	26 (水)	0.027	0.121
	27 (木)	0.019	0.061
	28 (金)	0.019	0.158
有 効 測 定 日 数 (日)		28	
測 定 時 間 (時間)		667	
月 平 均 値 (ppm)		0.016	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.094	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.239	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)
 は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果[平成26年2月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日	1 (土)	0.047	0.061
	2 (日)	0.041	0.056
	3 (月)	0.046	0.082
	4 (火)	0.018	0.036
	5 (水)	0.019	0.034
	6 (木)	0.025	0.042
	7 (金)	0.023	0.035
	8 (土)	0.022	0.044
	9 (日)	0.008	0.018
	10 (月)	0.025	0.041
別	11 (火)	0.011	0.021
	12 (水)	0.025	0.054
	13 (木)	0.023	0.043
	14 (金)	0.037	0.052
	15 (土)	0.017	0.039
	16 (日)	0.007	0.011
	17 (月)	0.033	0.058
	18 (火)	0.018	0.032
	19 (水)	0.017	0.033
	20 (木)	0.028	0.050
値	21 (金)	0.031	0.056
	22 (土)	0.017	0.036
	23 (日)	0.022	0.046
	24 (月)	0.043	0.065
	25 (火)	0.052	0.069
	26 (水)	0.056	0.080
	27 (木)	0.046	0.057
	28 (金)	0.030	0.051
有 効 測 定 日 数 (日)		28	
測 定 時 間 (時間)		667	
月 平 均 値 (ppm)		0.028	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.056	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.082	
1 時 間 値 が 0.2ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0	
1 時 間 値 が 0.1ppm 以 上 0.2ppm 以 下 の 時 間 数 (時間)		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数 (日)		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以 上 0.06ppm 以 下 の 日 数 (日)		7	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。

その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物(NO+NO₂)測定結果[平成26年 2月分]

測 定 局		南港中央公園			
項 目		日平均値		1時間値の最高値(ppm)	
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		
日	1 (土)	0.088	53.4	0.166	
	2 (日)	0.065	63.1	0.171	
	3 (月)	0.140	32.9	0.305	
	4 (火)	0.025	72.0	0.059	
	5 (水)	0.027	70.4	0.056	
	別	6 (木)	0.034	73.5	0.074
		7 (金)	0.028	82.1	0.052
		8 (土)	0.030	73.3	0.090
		9 (日)	0.008	100.0	0.018
		10 (月)	0.032	78.1	0.064
11 (火)		0.012	91.7	0.025	
12 (水)		0.038	65.8	0.151	
13 (木)		0.030	76.7	0.078	
14 (金)		0.060	61.7	0.110	
15 (土)		0.020	85.0	0.047	
値	16 (日)	0.007	100.0	0.011	
	17 (月)	0.067	49.3	0.262	
	18 (火)	0.021	85.7	0.042	
	19 (水)	0.019	89.5	0.043	
	20 (木)	0.038	73.7	0.107	
	21 (金)	0.052	59.6	0.174	
	22 (土)	0.018	94.4	0.045	
	23 (日)	0.025	88.0	0.060	
	24 (月)	0.068	63.2	0.188	
	25 (火)	0.088	59.1	0.281	
	26 (水)	0.083	67.5	0.187	
	27 (木)	0.066	69.7	0.118	
	28 (金)	0.048	62.5	0.209	
有効測定日数 (日)		28			
測定時間 (時間)		667			
月平均値 (ppm)		0.044			
日平均値の最高値 (ppm)		0.140			
1時間値の最高値 (ppm)		0.305			
月平均値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		72.9			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂ / (NO+NO₂) の算定方法は、下記のとおりである。

$$\text{日(月)平均値NO}_2 / (\text{NO} + \text{NO}_2) =$$

$$\frac{(\text{NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和)} / (\text{NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO+NO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和})$$

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果[平成26年 2月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (mg/m ³)	1時間値の 最高値 (mg/m ³)
日	1 (土)	0.037	0.062
	2 (日)	0.045	0.062
	3 (月)	0.063	0.098
	4 (火)	0.009	0.022
	5 (水)	0.012	0.023
	6 (木)	0.012	0.032
	7 (金)	0.013	0.028
	8 (土)	0.010	0.026
	9 (日)	0.007	0.022
	10 (月)	0.013	0.032
別	11 (火)	0.009	0.021
	12 (水)	0.012	0.037
	13 (木)	0.008	0.024
	14 (金)	0.009	0.018
	15 (土)	0.008	0.020
	16 (日)	0.017	0.034
	17 (月)	0.026	0.051
	18 (火)	0.011	0.023
	19 (水)	0.012	0.026
	20 (木)	0.017	0.033
値	21 (金)	0.022	0.040
	22 (土)	0.017	0.033
	23 (日)	0.021	0.039
	24 (月)	0.025	0.035
	25 (火)	0.060	0.094
	26 (水)	0.080	0.118
	27 (木)	0.040	0.075
	28 (金)	0.042	0.060
有効測定日数 (日)		28	
測定時間 (時間)		667	
月平均値 (mg/m ³)		0.023	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.080	
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.118	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)
 は、現時点では未確定値である。

気象観測結果(風向・風速)[平成26年 2月分]

測 定 局		南港中央公園			
項 目		風 速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (土)	1.0	1.6	SW	N
	2 (日)	1.1	2.0	SW	N
	3 (月)	1.1	3.8	N	N
	4 (火)	2.9	5.8	N	N
	5 (水)	2.3	4.0	NNW	N
	6 (木)	1.4	2.3	NNE, E	N
	7 (金)	2.3	3.4	N	N
	8 (土)	2.1	3.0	NNE, E	N
	9 (日)	2.1	4.4	N	NNW
	10 (月)	2.1	3.9	N	N
別	11 (火)	2.3	4.3	N	N
	12 (水)	1.5	3.4	N	N
	13 (木)	1.7	3.6	N	N
	14 (金)	1.1	2.3	NE	NNE
	15 (土)	2.1	3.8	NW	NW
	16 (日)	2.1	3.8	NNW	N
	17 (月)	1.7	3.6	NNW	N
	18 (火)	2.5	3.8	N	N
	19 (水)	2.5	3.7	N	N
	20 (木)	1.9	3.8	N, NNW	N
値	21 (金)	1.5	4.2	N	NNW
	22 (土)	1.2	2.7	NNE, E	N
	23 (日)	1.2	2.9	NNW	N
	24 (月)	0.9	2.0	W, WNW	ENE
	25 (火)	1.0	2.2	WSW	SW
	26 (水)	0.9	1.6	NNE	NNW
	27 (木)	1.4	2.5	NE	NNE
	28 (金)	1.7	2.6	NNW	N
測 定 時 間 (時間)		672			
月 平 均 風 速 (m/s)		1.7			
月 最 大 風 速 (m/s)		5.8			
月 最 多 風 向 (16方位)		N			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風向別出現頻度及び風向別平均風速[平成26年2月分]

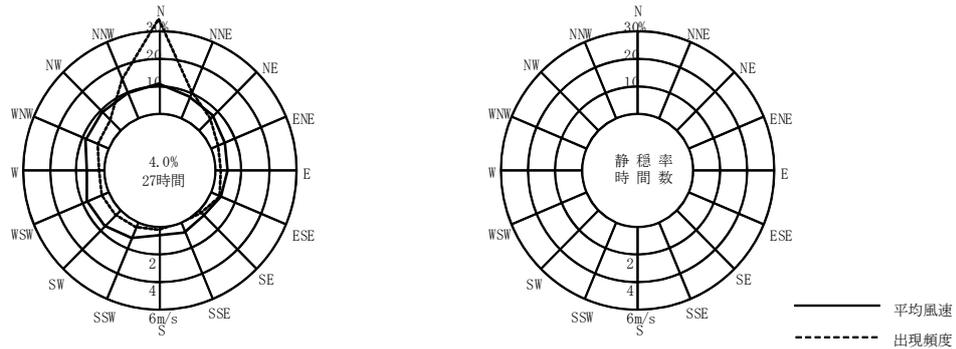
項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	72	40	22	18	25	12	3	8	12	17	17	11	27	32	101	228	27	672
頻度 (%)	10.7	6.0	3.3	2.7	3.7	1.8	0.4	1.2	1.8	2.5	2.5	1.6	4.0	4.8	15.0	33.9	4.0	-
平均風速(m/s)	1.7	1.5	1.2	1.0	0.9	0.6	0.8	0.6	1.2	1.5	1.6	1.2	1.7	1.8	1.9	2.2	0.2	-

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局：南港中央公園局

風向風速計高さ：14.2m

凡例



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成26年2月分]

水質調査結果（一般項目）

[平成26年 2月分]

調査日：平成26年 2月 5日

項目	調査点					最小値 ~ 最大値	平均値	
	1	2	3	4	5			
時刻	10:20	9:44	8:50	9:11	9:53	—	—	
透明度 [m]	3.9	4.0	3.8	3.8	4.0	3.8 ~ 4.0	3.9	
水温 [°C]	10.0	9.9	9.8	10.0	9.7	9.7 ~ 10.0	9.9	
	10.5	9.9	9.8	10.5	10.5	9.8 ~ 10.5	10.2	
塩分 [—]	30.92	31.43	31.04	30.68	29.85	29.85 ~ 31.43	30.78	
	32.04	31.78	31.15	31.95	31.95	31.15 ~ 32.04	31.77	
濁度 [度(カリン)]	2	1	2	2	2	1 ~ 2	2	
	2	1	2	3	2	1 ~ 3	2	
浮遊物質量 (SS) [mg/L]	2	2	2	3	3	2 ~ 3	2	
	2	3	2	6	3	2 ~ 6	3	
水素イオン濃度 (pH) [—]	8.3	8.3	8.4	8.3	8.3	8.3 ~ 8.4	—	
	8.3	8.3	8.4	8.3	8.3	8.3 ~ 8.4	—	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	3.1	2.4	2.8	2.9	2.3	2.3 ~ 3.1	2.7	
	2.4	2.1	2.6	2.6	1.9	1.9 ~ 2.6	2.3	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	11	9.8	11	10	9.5	9.5 ~ 11	10
	飽和度 [%]	117	105	115	108	100	100 ~ 117	109
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.34	0.31	0.27	0.68	0.48	0.27 ~ 0.68	0.42	
	0.23	0.30	0.24	0.36	0.23	0.23 ~ 0.36	0.27	
全磷 (T-P) [mg/L]	0.033	0.028	0.029	0.065	0.038	0.028 ~ 0.065	0.039	
	0.031	0.028	0.028	0.051	0.032	0.028 ~ 0.051	0.034	
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]	9.9	7.9	9.7	6.8	5.5	5.5 ~ 9.9	8.0	
	1.8	4.2	9.7	2.4	1.8	1.8 ~ 9.7	4.0	

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
